

総合医学

年次	学期	学則科目責任者
4年次	通年	坂巻 達夫 (内科学)

学習目標 (G I O)	歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
評価方法 (E V)	平常試験 (多肢選択問題) によって評価点 (100%) とする。 総合医学に含まれる各科目は追試験は行わないが、再試験は行わない。 成績評価は含まれる各科目の授業時間に応じた重み付けを行い、総合医学全体として評価点を出す。 60点以上を合格とする。

外科系

年次	学期	学習ユニット責任者
4年次	通年	牧山 康秀 (頭頸部外科学)

学習ユニット 学習目標 (G I O)	歯科診療を行う上で必要となる隣接医学の知識を外科学を中心に習得する。
担当教員	廣田 均、※荻野 暁義、※谷 眞弓、野本 たかと、※落合 豊子、※宋 圭男、※畠中 康晴、 ※前田 剛、※櫻井 健一、牧山 康秀
教科書	特になし
参考図書	標準外科学 第13版 加藤ら 医学書院 標準皮膚科学 富田ら 医学書院 よくわかる摂食・嚥下のしくみ 山田好秋 医歯薬出版
評価方法 (E V)	学期末に平常試験で評価する。その他、予告なしに試験を行う場合がある。受講態度により減点する。
学生への メッセージ オフィスアワー	質問などは牧山まで、まず、メールをください: makiyama.yasuhide@nihon-u.ac.jp

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/01 (水) 1時限 09:00~10:30	外科系1 外科学概論 近代外科学の発展 基本的外科手技	<p>【授業の一般目標】 広義の外科の一分野としての歯科を理解する。 近代外科学の進歩を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 外科学が発展してきた要因を説明できる。 2. 外科手術に用いる器械・器具を理解し、切開縫合・止血法の基本を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科学の歴史について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 オ 使用器材、取扱法 a 基本的器材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 イ 切開法 ウ 止血法 エ 縫合法</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-6 口腔外科系実習 ⑦基本的な縫合操作、抜糸を実施できる。</p>	谷 眞弓
2014/10/08 (水) 1時限 09:00~10:30	外科系2 消毒法・滅菌法・ 清潔操作・損傷・	<p>【授業の一般目標】 無菌法・滅菌法を通じ、手術における感染防止の重要性を理解する。 損傷・炎症の分類、病態・治療法について基本的概念を理解する。</p>	廣田 均 荻野 暁義

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	炎症	<p>創傷治癒のメカニズムを理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種消毒法を説明できる 2. 滅菌法を説明できる 3. 損傷、炎症を説明できる 4. 創傷治癒を説明できる <p>【準備学習項目】</p> <p>外科総論の該当部分を通読。</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 ア 消毒と滅菌</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論 総論X 治療 5 手術基本手技 ア 消毒と滅菌 エ 縫合法 ケ 創傷の治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-4) 小手術の基本手技 *⑥手指と術野の消毒について説明できる。 *⑦清潔と不潔の区別を説明できる。 *⑧器具の滅菌、消毒について説明できる。</p>	<p>廣田 均 荻野 暁義</p>
2014/10/15 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系3 免疫	<p>【授業の一般目標】</p> <p>外科免疫に関する臓器・細胞について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外科免疫に関する臓器・細胞について説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>免疫について説明できる</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 f 免疫（自然免疫、獲得免疫）</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】 *③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。 *④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。 *⑤アレルギーの分類を説明できる。【発生機序を含む。】 *⑥免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。</p>	<p>畠中 康晴</p>
2014/10/22 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系4 皮膚疾患 総論・各論1	<p>【授業の一般目標】</p> <p>皮膚の解剖を説明できる。 発疹学を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 代表的な発疹疾患を説明できる <p>【準備学習項目】</p> <p>皮膚の解剖</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学総論 総論VII 主要症候 1 全身的症候 イ 皮膚、外表</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学</p>	<p>落合 豊子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/22 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系4 皮膚疾患 総論・各論1	C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *①上皮を形態的および機能的に分類できる。 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 *③腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。	落合 豊子
2014/10/29 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系5 ショック 救急蘇生法	【授業の一般目標】 ショックを説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. ショックの定義と症状、分類を説明できる。 2. ショックに対し救急蘇生法ができる。 【準備学習項目】 血圧、循環、呼吸について。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 13 初期救急 イ 救急処置 b 救急処置を要する症状 (失神、意識障害、ショック、けいれん、呼吸困難、胸痛、嘔吐、皮膚症状、誤飲と誤嚥) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 13 初期救急 ア 救急患者の診察 b バイタルサインの把握 c 意識障害の評価 e 重要臓器の機能状態の把握 イ 救急処置 a 一次救命処置<BLS>、気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、除細動、静脈路確保、酸素療法、基本的救急薬品、止血法、輸液療法、輸血 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *⑦ショックの成因と種類を説明できる。	前田 剛
2014/11/05 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系6 腫瘍、抗腫瘍剤	【授業の一般目標】 腫瘍について基本的概念を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 良性・悪性の鑑別点を説明できる 2. 抗腫瘍剤の作用機序・使用法・副作用を説明できる。 【準備学習項目】 腫瘍を定義できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 7 腫瘍 ア 腫瘍の概念 イ 腫瘍発生の病因 ウ 腫瘍の疫学 エ 腫瘍の発育様式 ケ 腫瘍と宿主の関係 総論X 治療 8 放射線治療 ア 放射線治療の生物学的・物理学的基礎 9 薬物療法 セ 抗腫瘍薬 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *①腫瘍の定義を説明できる。 *②腫瘍の病因を説明できる。 *③異形成を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。 E 臨床歯学教育	丹羽 秀夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/05 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系6 腫瘍, 抗腫瘍剤	E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑪前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 *⑫口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。 *⑧腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。	丹羽 秀夫
2014/11/12 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系7 気管・食道科学 総論	【授業の一般目標】 気管食道の病態、嚥下とその病態について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 誤飲、誤嚥を説明できる。 2. 気管・食道の異物について説明できる。 【準備学習項目】 気管・食道の解剖・機能を理解できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 18 歯科における全身偶発症 キ 誤飲と誤嚥 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 イ 摂食・嚥下障害の病因・病態 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査 エ 摂食・嚥下障害の主な原因 オ 摂食・嚥下に関する諸因子 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *⑧嚥下の機序を説明できる。 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (10) 口唇・口腔・顎顔面領域の機能障害 *②嚥下障害を概説できる。	宋 圭男
2014/11/19 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系8 甲状腺・リンパ腺・ 乳腺	【授業の一般目標】 歯科科学領域で遭遇頻度の高い頭頸部疾患を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的な甲状腺疾患を説明できる。 2. 代表的な乳腺疾患を説明できる。 【準備学習項目】 甲状腺、乳腺の解剖生理を説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論III 人体の正常構造と機能 2 器官系 ケ 内分泌系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *①腫瘍の定義を説明できる。 *②腫瘍の病因を説明できる。 *③異形成を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。	櫻井 健一
2014/11/26 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系9 急性腹症	【授業の一般目標】 急性腹症とは何かを説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的な急性腹症を説明できる。 【準備学習項目】 腹腔の解剖生理を理解する。	畠中 康晴

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/26 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系9 急性腹症	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 13 初期救急 ア 救急患者の診察 e 重要臓器の機能状態の把握</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管 (咽頭、食道、胃、小腸、大腸) の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。 *③膵臓の外分泌腺と内分泌腺の特徴を説明できる。</p>	畠中 康晴
2014/12/03 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系10 食道疾患	<p>【授業の一般目標】 食道の臨床解剖と疾患を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的な食道疾患を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 食道の解剖生理について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思 (欲) 不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管 (咽頭、食道、胃、小腸、大腸) の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】</p>	宋 圭男
2014/12/10 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系11 消化管・肝・胆・膵	<p>【授業の一般目標】 消化性潰瘍の概念を理解する。 消化性潰瘍の診断と治療法を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 胃癌の疫学と概念を理解し診断・治療法を説明できる。 2. 大腸癌の疫学と概念を理解し診断・治療法を説明できる。 3. 大腸の炎症性疾患を説明できる。 4. 代表的な肛門疾患の診断治療について説明できる。 5. 代表的な肝臓・胆嚢・膵臓疾患を理解し、診断・治療法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 消化管の解剖と生理を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 エ 消化器</p>	宋 圭男

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/10 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系11 消化管・肝・胆・ 膵	<p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管(咽頭、食道、胃、小腸、大腸)の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】</p>	宋 圭男
2014/12/17 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系12 皮膚疾患 各論2	<p>【授業の一般目標】 口腔に見られる皮膚粘膜疾患の説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 天疱瘡を説明できる 2. 単純ヘルペスを説明できる。 3. 口腔カンジダ症を説明できる。 4. 扁平苔癬を説明できる。 5. 口腔アレルギー症候群を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔粘膜の解剖生理を説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 エ 口腔粘膜</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 6 口腔粘膜疾患 ア 単純疱疹 <疱疹性口内炎> オ 天疱瘡 カ 類天疱瘡 ケ 粘膜・皮膚・眼症候群 <Stevens-Johnson 症候群> コ 中毒性表皮壊死剥離症 <TEN> チ 口腔扁平苔癬 ツ 口腔カンジダ症<顎口瘡></p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織(上皮組織、結合組織、筋組織)【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *①上皮を形態的および機能的に分類できる。 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 *③腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。 *④結合組織の線維要素と細胞要素を説明できる。</p>	落合 豊子
2014/12/24 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系13 摂食・嚥下機能と 摂食・嚥下機能障 害	<p>【授業の一般目標】 摂食・嚥下機能を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.1. 摂食・嚥下機能の発達を説明できる。 2. 2. 嚥下の機序について説明できる。 3. 3. 嚥下動作にかかわる解剖・生理を説明できる。 4. 4. 摂食・嚥下機能障害を合併する疾患を述べられる。</p> <p>【準備学習項目】 頭頸部の解剖について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 へ 口腔機能のリハビリテーション a 機能の回復 <咀嚼機能、摂食・嚥下機能、構音機能></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *⑧嚥下の機序を説明できる。</p>	野本 たかと
2015/01/14 (水) 1時限 09:00～10:30	外科系14 摂食・嚥下機能障 害のリハビリテー ション1	<p>【授業の一般目標】 摂食・嚥下障害の診断ができるために診査法および検査法を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. リハビリテーションの概念について説明できる。 2. 摂食・嚥下機能障害の診査法および検査法を説明できる。 3. 摂食・嚥下機能障害の診断を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	野本 たかと

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/14 (水) 1時限 09:00～10:30	外科科系14 摂食・嚥下機能障 害のリハビリテー ション1	リハビリテーションについて説明できる。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 チ 造影検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。	野本 たかと
2015/01/21 (水) 1時限 09:00～10:30	外科科系15 摂食・嚥下機能障 害のリハビリテー ション2	【授業の一般目標】 摂食・嚥下リハビリテーションができるよう訓練法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 間接訓練法と直接訓練法について説明できる。 2. 嚥下障害と誤嚥性肺炎について説明できる。 3. 嚥下障害と栄養について説明できる。 【準備学習項目】 嚥下障害について説明できる。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 16 摂食・嚥下障害 イ 摂食・嚥下障害の対応 c 直接訓練、段階的摂食訓練 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下リハビリテーションを説明できる。	野本 たかと
2015/01/28 (水) 1時限 09:00～10:30	外科科系16 平常試験	【授業の一般目標】 客観問題を中心に出题する。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室	廣田 均 牧山 康秀

頭蓋・顔面・頭頸部外科系

年次	学期	学習ユニット責任者
4年次	通年	牧山 康秀 (頭頸部外科学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	歯学と機能上不可分な解剖学的隣接領域である耳鼻咽喉科の疾患を学習する。 機能修復、温存に必要な形成外科、疼痛学を学習する。
担当教員	※久保 英之、※鳴原 俊太郎、牧山 康秀、丹羽 秀夫、※下田 勝巳、※副島 一孝、小見山 道
教科書	複数科目にわたるため参考図書とする
参考図書	標準耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 鈴木ら 医学書院 標準形成外科学 平林ら 医学書院 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 日本口腔顔面痛学会 医歯薬出版 Bell's Orofacial Pain Jeffrey P. Okeson Quintessence
評価方法 (EV)	学期末の平常試験による評価とする。ただし、学習状況により減点を行う場合がある。また、予告のない平常試験を追加し評価に加味する場合がある。
学生への メッセージ オフィスアワー	本学のMottoであるmedico-dental scienceの理解と構築発展のための基礎となる講義群である。本講座では顎口腔と解剖学的に隣接した医学領域の基本知識を得る。周辺分野をよりよく知ることによって歯科口腔外科の理解が一層深まり、self-confidentとなる。境界領域ではあるがそのほとんどは歯科医学教育の標準的内容と重複していることを追記しておく。 詳細はユニット責任者へ： 連絡はまずメールで：makiyama.yasuhide@nihon-u.ac.jp

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/29 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋・顔面・頭頸部外科系1 頭部顔面外傷・総論	<p>【授業の一般目標】 頭部顔面外傷の総論を説明できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 頭蓋顔面外傷に必要な解剖を説明できる 2. 頭蓋顔面外傷の特殊性、特徴を説明できる 3. 頭蓋顔面外傷の初期診断、初期治療を説明できる 4. 頭蓋顔面外傷の徴候と診断を説明できる 5. 頭蓋顔面外傷の治療を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 頭蓋顔面の解剖を説明できる 外傷の総論が説明できる</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 イ 骨折の様態</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 ア 骨の亀裂・破折・脱臼 サ 損傷に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-2 診察の基本 F-2-2) 頭頸部の診察 ①顔面の色調変化の診察ができる。 ②顔面の対称性の診察ができる。</p>	牧山 康秀
2014/10/06 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外科系2 耳鼻咽喉科学総論 解剖・生理・機能	<p>【授業の一般目標】 耳鼻咽喉科学が歯科医学においてどのような位置づけにあるのかを理解し、解剖、生理について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 耳鼻咽喉科領域の解剖を説明できる 2. 耳鼻咽喉科領域の生理を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 聴器、平衡器、鼻腔、副鼻腔、咽頭喉頭の解剖と生理が説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	丹羽 秀夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/06 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外科系2 耳鼻咽喉科学総論 解剖・生理・機能	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *①頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 *③頭頸部の脈管系を説明できる。 *⑧嚥下の機序を説明できる。</p>	丹羽 秀夫
2014/10/20 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外科系3 耳科学総論	<p>【授業の一般目標】 耳の臨床解剖・機能を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 聴器、平衡器の臨床解剖、生理を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 聴器、平衡器の解剖生理を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ク 感覚器系</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系（骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p>	嶋原 俊太郎
2014/10/27 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外科系4 疼痛学総論	<p>【授業の一般目標】 疼痛学の基礎を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 口腔・顎・顔面・頭部の痛覚伝導路を説明できる 2. 口腔・顎・顔面・頭部の筋支配を説明できる 3. 疼痛の定義、意義、機能を説明できる 4. 疼痛の分類を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 口腔・顎・顔面・頭部の知覚と運動の解剖生理を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 8 疼痛 エ 口腔・顔面領域の疼痛</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 8 疼痛 ア 侵害受容性疼痛 イ 神経障害性疼痛 ウ 心因性疼痛 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ス 顔面皮膚の感覚</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。</p>	小見山 道 牧山 康秀
2014/11/10 (月) 1時限	頭蓋顔面頭頸部外科系5	<p>【授業の一般目標】 鼻科領域において歯科医学と関連の深い検査法・診断・治療を説明できる。</p>	丹羽 秀夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
09:00～10:30	鼻科学各論 咽喉頭科学総論各論	<p>咽頭・喉頭の解剖・機能を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 副鼻腔炎の病態、症状、診断、治療について説明できる。 2. 咽喉頭疾患を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 鼻腔、副鼻腔の解剖と生理を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 3 軟組織の炎症 カ 歯性上顎洞炎</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 エ 舌癌 ケ 上顎洞癌 コ 軟組織の肉腫</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系（鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支）の構造と機能を説明できる。</p>	丹羽 秀夫
2014/11/17 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系6 疼痛学各論1 口腔・顎領域の慢性疼痛1	<p>【授業の一般目標】 口腔・顎・顔面領域に発生する慢性疼痛疾患に対応できるようになるために、各種原因疾患の診査、診断治療方針に関する基本的知識を理解する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎関節症の診査、診断、治療方針を説明できる 2. 舌痛症の診査、診断、治療方針を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 顎関節の解剖、生理、機能。 舌の神経支配、舌に疼痛を引き起こす系統疾患。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 カ 顎関節症・口腔顔面痛</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 13 神経疾患 オ 舌痛症</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 顎関節疾患 *②顎関節疾患（外傷、脱臼、炎症、顎関節症、顎関節強直症）の症状、診断法および治療法を概説できる。 E-2-4) - (8) 神経性疾患 *②口腔・顔面痛について概説できる。</p>	小見山 道 牧山 康秀 久保 英之
2014/12/01 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系7 疼痛学各論2 頭部・顔面領域の慢性疼痛	<p>【授業の一般目標】 慢性の頭痛・顔面痛について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 緊張型頭痛、片頭痛、群発頭痛が説明できる 2. 三叉神経痛、舌咽神経痛が説明できる 3. 非定型顔面痛、非定型歯痛が説明できる 4. 帯状疱疹後神経痛が説明できる 5. 複合性局所疼痛症候群が説明できる</p> <p>【準備学習項目】 疼痛の基礎医学を説明できる。 疼痛の臨床的意味を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	牧山 康秀 小見山 道 久保 英之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/01 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系7 疼痛学各論2 頭部・顔面領域の 慢性疼痛	<p>【国家試験出題基準（主）】</p> 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 8 疼痛 エ 口腔・顔面領域の疼痛	牧山 康秀 小見山 道 久保 英之
		<p>【国家試験出題基準（副）】</p> 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 13 神経疾患 ア 三叉神経痛 イ 舌咽神経痛 ウ 非定型顔面痛、非歯原性歯痛 エ 複合性局所疼痛症候群 <complex regional pain syndrome>	
		<p>【コアカリキュラム】</p> E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (8) 神経性疾患 *①三叉神経痛の原因、症状および治療法を説明できる。 *②口腔・顔面痛について概説できる。	
2014/12/08 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系8 形成外科総論・顎 顔面領域の形成外 科総論	<p>【授業の一般目標】</p> 形成外科の理念・方法論を理解する。 顎顔面領域で関わる形成外科の疾患を説明できる。 顎顔面領域における歯科ならびに形成外科学的審美学を理解する。	副島 一孝
		<p>【行動目標（SBOs）】</p> 1. 形成外科を定義できる 2. 形成外科の対象となる顎顔面領域の先天異常、外傷、組織欠損、再生医療について説明できる 3. 顎顔面領域における審美学を説明できる	
		<p>【準備学習項目】</p> 皮膚の組織、創傷の治癒を説明できる。	
		<p>【学習方略（LS）】</p> 講義	
		<p>【場所（教室/実習室）】</p> 302教室	
		<p>【国家試験出題基準（主）】</p> 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 1 頭頸部の構造 カ 顔面	
		<p>【国家試験出題基準（副）】</p> 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 1 先天異常と変形を主徴とする疾患 ア 口唇・口蓋裂 ウ 顔面裂 エ 口唇・頬部の異常 ク 先天異常と変形に対する治療	
		<p>【コアカリキュラム】</p> E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。	
2014/12/15 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系9 形成外科学各論1 口唇裂・口蓋裂	<p>【授業の一般目標】</p> 口唇裂、口蓋裂を説明できる。	下田 勝巳 副島 一孝
		<p>【行動目標（SBOs）】</p> 1. 口唇裂、口蓋裂を定義できる 2. 口唇裂、口蓋裂の分類、疫学、病態、合併症、解剖、治療計画、手術について説明できる。	
		<p>【準備学習項目】</p> 顔面の発生学と臨床解剖を説明できる。	
		<p>【学習方略（LS）】</p> 講義	
		<p>【場所（教室/実習室）】</p> 302教室	
		<p>【国家試験出題基準（主）】</p> 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 イ 顎、口蓋	
		<p>【国家試験出題基準（副）】</p> 歯科医学各論 各論II 成長発育に関連した疾患・病態	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/15 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系9 形成外科学各論1 口唇裂・口蓋裂	1 歯・口腔・顎・顔面の発育を障害する先天異常 ア 口唇・口蓋裂 各論IV 顎・口腔領域の疾患 1 先天異常と変形を主徴とする疾患 ア 口唇・口蓋裂 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢と その異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 *②一次口蓋と二次口蓋の発生を説明できる。 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (1) 先天異常および後天異常 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。	下田 勝巳 副島 一孝
2014/12/22 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系10 疼痛学各論3 口腔・顎領域の慢 性疼痛2	【授業の一般目標】 歯に原因がないにも関わらず歯に疼痛を引き起こす非菌原性歯痛の適切な診査、 診断、治療方針の決定ができるようになるために、各種原因疾患の特長を理解 する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 筋・筋膜痛による関連痛の特徴が説明できる 2. 神経障害性疼痛による歯痛の特長が説明できる。 3. 神経血管性疼痛による歯痛の特徴が説明できる。 4. その他の原因による非菌原性歯痛による歯痛の特徴が説明できる。 【準備学習項目】 疼痛学総論、疼痛学各論1、疼痛学各論2の内容 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 1 病態 カ 顎関節症・口腔顔面痛 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (8) 神経性疾患 *②口腔・顔面痛について概説できる。	小見山 道 牧山 康秀 久保 英之
2014/12/25 (木) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系11 顎顔面領域の神経 疾患	【授業の一般目標】 顎顔面領域の神経支配を説明できる。 神経疾患による顎顔面領域の症状・病態・診断につ いて説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 顔面けいれん、口腔ジスキネジーについて説明できる。 2. 顔面神経麻痺、Ramsay Hunt症候群について説明できる。 3. 三叉神経麻痺、舌神経麻痺、舌下神経麻痺について説明できる。 【準備学習項目】 頭部、顔面、口腔、頸部の解剖、生理について説明できる。 けいれん、不随意運動、てんかんを定義できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VII 主要症候 1 全身的症候 ク 神経 (知覚障害と運動障害を含む) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 13 神経疾患 キ 舌神経麻痺 ク 顔面神経麻痺 ケ 軟口蓋麻痺 コ Ramsay-Hunt 症候群 <Hunt症候群> サ 顔面けいれん シ 三叉神経麻痺 ス 舌下神経麻痺 セ 神経疾患の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (8) 神経性疾患	牧山 康秀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/25 (木) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系1 1 顎顔面領域の神経 疾患	<p>*③顔面神経麻痺の原因、症状および治療法を説明できる。 *④三叉神経麻痺（感覚麻痺、運動麻痺）の原因、症状および治療法を説明できる。</p> <p>F 臨床実習 F-2 診察の基本 F-2-2) 頭頸部の診察 ②顔面の対称性の診察ができる。</p>	牧山 康秀
2015/01/19 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系1 2 耳科学各論 めまい・平衡機能	<p>【授業の一般目標】 平衡器官とその疾患について検査・診断・治療法を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. メニエール病、突発性難聴について説明できる。 2. 良性発作性頭位眩暈症、前庭神経炎について説明できる。 3. 聴力検査、他覚聴力検査について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 平衡器の解剖生理について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思（欲）不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身の症候 ク 神経（知覚障害と運動障害を含む）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p>	嶋原 俊太郎
2015/01/26 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系1 3 形成外科学各論 2 顔面頭頸部の形成 再建外科	<p>【授業の一般目標】 顔面頭頸部形成再建術に必要な解剖・術式・合併症を説明できる。 顔面頭部領域で関わる形成外科的知識を説明できる。 再建外科に必要な皮膚移植（組織移植）について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 自家組織移植による再建について説明できる。 2. 植皮術と皮弁について説明できる。 3. 顔面頭頸部再建術を説明できる。 4. 口腔、中咽頭再建術を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 皮弁の作成と創の形成を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅹ 治療 5 手術基本手技 ク 移植、再植</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 タ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療 a 外科療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 ⑦軟組織損傷を分類し、それぞれの症状と処置法を説明できる。</p>	副島 一孝
2015/02/02 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系1 4 頭頸部腫瘍学	<p>【授業の一般目標】 唾液腺腫瘍、頸部郭清術について説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 唾液腺の種類・解剖・機能を説明できる。 2. 唾液腺疾患の検査法、診断治療を説明できる。 3. 頸部郭清術の解剖、術式、合併症を説明できる。</p>	丹羽 秀夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/02 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外科系14 頭頸部腫瘍学	<p>【準備学習項目】 頸部の解剖について説明できる。 唾液腺の解剖と生理を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 タ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する治療 a 外科療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 エ 舌癌 ク 口底癌 コ 軟組織の肉腫 12 唾液腺疾患 タ 良性腫瘍 チ 悪性腫瘍 テ 唾液腺疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。</p>	丹羽 秀夫
2015/02/05 (木) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外科系15 頭部顔面外傷各論	<p>【授業の一般目標】 頭蓋顔面外傷の各病型の診断治療を説明できる</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 頭蓋骨骨折の分類・診断・治療を説明できる。 2. 眼科骨折の分類・診断・治療を説明できる。 3. 頬骨骨折の分類・診断・治療を説明できる。 4. 上顎Le Fort 骨折の分類・診断・治療を説明できる。 5. 下顎骨骨折の分類・診断・治療を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 頭蓋、顔面の解剖を説明できる。 外傷の総論が説明できる。 頭部・顔面外傷の総論が説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 2 軟組織の損傷 ウ 損傷に対する治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 ア 骨の亀裂・破折・脱臼 イ 骨折の様態 エ 下顎骨骨折 カ 上顎骨骨折 キ 頬骨・頬骨弓骨折 ク 鼻骨骨折 ケ 眼窩壁吹き抜け骨折 サ 損傷に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 *①一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 *②歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。 *③外傷時の検査法を列挙できる。 *④骨折の治療原則を説明できる。 ⑦軟組織損傷を分類し、それぞれの症状と処置法を説明できる。</p>	前田 剛
2015/02/09 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外科系16 平常試験	<p>【授業の一般目標】 客観問題による試験。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p>	牧山 康秀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/09 (月) 1時限 09:00～10:30	頭蓋顔面頭頸部外 科系16 平常試験	【国家試験出題基準(主)】 【コアカリキュラム】	牧山 康秀

内科・臨床検査医学系

年次	学期	学習ユニット責任者
4年次	通年	坂巻 達夫 (内科学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	全身疾患を有する患者に適切な歯科診療を行うために必要な臨床検査の知識を習得する。歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
担当教員	坂巻 達夫、近藤 壽郎、福本 雅彦、牧村 正治、大口 純人、西村 均、伊藤 耕、深津 晶、 續橋 治、布施 恵、山口 桜子、岩井 聡、羽田 紗綾
教科書	教科書は使用しない。基礎歯科医学で使用した教科書を参考とする。 内科：テキストを配布する。
参考図書	臨床検査法提要 金井 泉著 金原出版 新臨床内科学第8 版 高久史磨 医学書院 歯科のための内科学 改訂第3 版 井田和徳 南江堂 チャート式こんな患者が来院したら 和嶋浩一 デンタルダイヤモンド社 有病者歯科ポケットブック全身疾患VS 歯科治療 渋谷鑛 デンタルダイヤモンド社
評価方法 (EV)	臨床検査：中間試験 45% 小テスト(講義終了後毎回試験を行う) 10% 平常試験 45% *正当な理由がなく、授業を1/5 以上欠席した場合は、評価点は上限60 点とする。 内科：平常試験(多肢選択問題) 100% 事例検討：平常試験(多肢選択問題) 100% 総合医学に含まれる各科目は追試験は行うが、再試験は行わない。成績評価は含まれる各科目の授業時間に応じての重みづけを行い、総合医学全体として評価点を出す。60 点以上を合格とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	すでに履修した生理学、生化学、病理学、解剖学、などと系統立てて学習すると理解しやすい。 全人的医療という言葉が表わすように、患者さんを取り巻く社会的、生理的、心理的、倫理的といった様々な要素を理解するためにも幅広い知識が要求されます。歯科医学を遂行する上で必ず役に立つ時が来ますので、集中して受講してください。 内科：オフィスアワー 午前8 時ころから午後5 時ころまで。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/03 (木) 1時限 09:00~10:30	総論 1) 臨床検査とは 2) 臨床検査の種類 3) 歯科診療と臨床検査 一般検査 尿検査 1) 尿検査とは 2) 尿検査の重要性 3) 採尿法 4) 尿検査	【授業の一般目標】 臨床検査医学とはどのような学問かを理解し説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 臨床検査に用いられる検査材料の種類とその取り扱いを説明できる。 2. 各検査項目の臨床的意義を理解し説明できる。 3. 歯科診療における臨床検査の重要性を理解し説明できる。 4. 腎臓の形態、尿、尿検査の利点欠点を説明できる。 5. 尿一般検査、尿化学的検査、尿形態学的検査の項目と臨床的意義について説明できる。 【準備学習項目】 1) 生化学、生理学、栄養学、組織・解剖学、病理学を十分理解する。 2) 解剖学的・組織学的な腎臓の特徴を説明できる。 3) 代謝についてを説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302 教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ウ 検体検査の種類 a 一般臨床検査 (尿、穿刺液、関節液) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 2 臨床判断の基本 イ 基準値 a 基準範囲の概念 b 生理学的変動 c 性差、年齢差 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。 *⑤各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。	福本 雅彦 深津 晶
2014/04/03 (木) 2時限 10:40~12:10	内科診断学1	【授業の一般目標】 循環動態、意識障害、発熱、咳嗽、胸痛、血圧異常について理解する。	坂巻 達夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	内科診断学1	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. 症候から考えられる疾患の診断過程を説明できる。 2. 症候に関連する検査データを踏まえて鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 循環動態、意識障害、発熱、咳嗽、胸痛、血圧異常について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思(欲)不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 10 診察の基本 オ 全身の診察 a 全身の外観 (体型、栄養、姿勢、歩行、発声) b 意識状態、精神状態 c バイタルサイン (呼吸、脈拍、血圧、体温) 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身の症候 ア 一般的症候 イ 皮膚、外表 ウ 呼吸器、心臓、血管 エ 消化器 オ 血液、造血器、免疫 カ 口腔の診察・検査 ク 神経 (知覚障害と運動障害を含む)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激(興奮)伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 *②肺循環と体循環の2系統を説明できる。 *③動脈、毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明できる。 *④血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 *⑥リンパの循環路とリンパ節の構造と機能を説明できる。 C-2-3) - (5) 神経系 *②末梢神経系の機能分類(体性神経系と自律神経系)を説明できる。 *③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能(呼吸、循環、体温)の調節中枢の働きを含む。】 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。</p>	坂巻 達夫
2014/04/10 (木) 1時限 09:00~10:30	糖尿病 糖尿病と歯科 診療	<p>【授業の一般目標】 糖尿病について理解できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 糖尿病の定義を説明できる。 2. インスリンの働きを説明できる 3. 糖尿病の種類と特徴を説明できる。 4. 糖尿病の症状および合併症を説明できる 5. 糖尿病を調べるための検査項目を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 1) 人体に必要なエネルギーについて説明できる。 2) 栄養の代謝特に糖代謝について説明できる</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身の症候 ケ 内分泌、代謝、栄養</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身の症候 ケ 内分泌、代謝、栄養 必修の基本的事項 11 検査の基本 ウ 検体検査の種類 a 一般臨床検査(尿、穿刺液、関節液)</p>	深津 晶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/10 (木) 1時限 09:00～10:30	糖尿病 糖尿病と歯科 診療	<p>c 生化学検査 (糖質、糖、代謝関連物質、蛋白、含窒素成分、脂質代謝関連物質、電解質、酸塩基平衡、酵素、ホルモン) キ 結果の解釈 b 症候との関連 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 2 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化 オ 全身への影響 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 1 6 口腔症状を呈する疾患 エ 内分泌障害、代謝障害</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。 *②⑤各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。 *③口腔領域の疾患と全身疾患との関連を理解し説明できる。【歯科治療時の対応を含む。】</p>	深津 晶
2014/04/10 (木) 2時限 10:40～12:10	内科診断学2	<p>【授業の一般目標】 悪心、嘔吐、腹痛、下痢、急性腹症について理解する。 出血傾向、貧血について理解する。 浮腫、血尿、タンパク尿について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 症候から考えられる疾患の診断過程を説明できる。 2. 症候に関連する検査を踏まえて鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 悪心、嘔吐、腹痛、下痢、急性腹症について説明できる。 出血傾向、貧血について説明できる。 浮腫、血尿、タンパク尿について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思 (欲) 不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ウ 検体検査の種類 a 一般臨床検査 (尿、穿刺液、関節液) b 血球検査、凝固・線溶、血液型・輸血関連検査、赤沈 c 生化学検査 (糖質、糖、代謝関連物質、蛋白、含窒素成分、脂質代謝関連物質、電解質、酸塩基平衡、酵素、ホルモン) d 免疫血清学検査 (抗体、補体、炎症反応、感染症の血清学的診断) 歯科医学総論 総論VII 主要症候 1 全身の症候 ア 一般的症候 エ 消化器 オ 血液、造血器、免疫</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *①消化管 (咽頭、食道、胃、小腸、大腸) の基本構造と機能を説明できる。 【腸管平滑筋の特徴、消化液、消化管ホルモンの機能を含む。】 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。 *③膵臓の外分泌腺と内分泌腺の特徴を説明できる。 C-2-3) - (9) 泌尿器系 *①腎臓と尿路 (尿管、膀胱、尿道) の構造と機能を説明できる。 *②体液の量と組成および浸透圧の調節機構を説明できる。【ネフロン働き (濾過、再吸収、分泌) を含む。】 *③水代謝と主な電解質の出納を説明できる。【酸-塩基平衡を含む。】 C-2-3) - (11) 血液、造血器、リンパ性器官 *①リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。 *②造血器を説明できる。 *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。 *④止血と血液凝固の機序を説明できる。【線溶系を含む。】</p>	坂巻 達夫
2014/04/17 (木) 1時限 09:00～10:30	血液 1) 血液の組成と役割 2) 採血法 3) 試料の取り扱い 血液疾患 (1) 貧血①	<p>【授業の一般目標】 血液の組成と役割を理解できる。 貧血について理解できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 血液成分について理解し説明できる 2. 採血方法を説明できる 3. 貧血の定義を理解し説明できる 4. 貧血の一般症状について理解し説明できる</p>	牧村 正治 續橋 治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/17 (木) 1時限 09:00～10:30	1) 貧血とは 2) 貧血の分類 3) 貧血の検査	<p>5. 貧血の分類を理解し説明できる</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>1) 血球成分（赤血球、白血球、血小板）、血清成分の働きを説明できる。 2) 静脈の位置を説明できる。 3) 造血について説明できる。 4) 赤血球の働きについて説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IX 検査 3 検体検査 ウ 血液学検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論IX 検査 3 検体検査 ア 検体の採取・保存 ウ 血液学検査 総論VII 主要症候 1 全身的症候 オ 血液、造血器、免疫 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 p 口腔に症状を現す血液疾患・出血性素因 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思（欲）不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害 ウ 全身的疾患による主な口腔症状 a 貧血による舌炎</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。 *⑮各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (11) 血液、造血器、リンパ性器官 *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。</p>	牧村 正治 續橋 治
2014/04/17 (木) 2時限 10:40～12:10	内科診断学3	<p>【授業の一般目標】 腰痛について理解する。 運動麻痺、認知症について理解する。 睡眠障害、うつ状態について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 症候から考えられる疾患の診断過程を説明できる。 2. 症候に関連する検査を踏まえて鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 腰痛について説明できる。 運動麻痺、認知症について説明できる。 睡眠障害、うつ状態について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思（欲）不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VII 主要症候 1 全身的症候 キ 心理、精神機能 ク 神経（知覚障害と運動障害を含む）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系</p>	坂巻 達夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/17 (木) 2時限 10:40~12:10	内科診断学3	*①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 *②骨の基本構造と結合様式を説明できる。	坂巻 達夫
2014/04/24 (木) 1時限 09:00~10:30	血液疾患 (1) 貧血② 4) 各種貧血について 5) 貧血患者の歯科診療における対応 血液疾患 (2) 出血性素因① 1) 出血性素因とは 2) 出血性素因の分類	【授業の一般目標】 貧血を理解できる 出血性素因を理解できる 【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的な貧血とその特徴を理解し説明できる。 2. 貧血患者の歯科診療の対応について理解し説明できる 3. 止血の機序を説明できる 4. 血液凝固因子の種類および働きを説明できる 5. 血液凝固の機序を説明できる 6. 出血性素因の定義および原因を説明でき、原因別に分類することができる 【準備学習項目】 血液の働き特に血小板および血液凝固因子の働きを説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VII 主要症候 1 全身的症候 オ 血液、造血器、免疫 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *②出血の原因、種類および転帰を説明できる。 *③血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。	牧村 正治 續橋 治
2014/04/24 (木) 2時限 10:40~12:10	生体機能検査 (胸部X線写真、心電図)	【授業の一般目標】 胸部の解剖について理解する。 心臓の電気生理について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 胸部エックス線写真、心電図、呼吸機能検査について重要な所見を説明できる。 【準備学習項目】 胸部の解剖について説明できる。 心臓の電気生理について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IX 検査 4 生体機能検査 ア 呼吸機能検査 イ 心機能検査 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激 (興奮) 伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系 (鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支) の構造と機能を説明できる。 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】	井上 文央
2014/05/08 (木) 1時限 09:00~10:30	血液疾患 (2) 出血性素因② 3) 出血性素因の検査 4) 出血に対する歯科診療時の対応	【授業の一般目標】 出血性素因について理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 出血性素因を原因別に調べる検査項目および検査意義を説明できる 2. 代表的な出血性素因とその特徴を理解し説明できる 3. 出血性素因患者の歯科診療の対応について理解し説明できる 【準備学習項目】 血液の働き特に血小板および血液凝固因子の働きを説明できる。	牧村 正治 續橋 治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/08 (木) 1時限 09:00～10:30	血液疾患(2) 出血性素因② 3) 出血性素因の検査 4) 出血に対する歯科診療時の対応	<p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ウ 全身的疾患による主な口腔症状 b 出血性素因による歯肉出血・拔牙後出血</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 C-4-3) 出血の原因、種類および転帰を説明できる。 *②出血の原因、種類および転帰を説明できる。 *③血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *①口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患(貧血、出血性素因、白血病)とスクリーニング検査法を列挙できる。</p>	牧村 正治 續橋 治
2014/05/08 (木) 2時限 10:40～12:10	呼吸器疾患	<p>【授業の一般目標】 呼吸器系の解剖、生理機能について理解する。 呼吸器系の疾患について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 急性呼吸器感染症、肺結核、慢性閉塞性肺疾患、肺腫瘍について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 呼吸器系の解剖、生理機能について説明できる。 呼吸器系の疾患について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 ウ 呼吸器系</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 ウ 呼吸器、心臓、血管 総論Ⅸ 検査 2 画像検査 シ CT 4 生体機能検査 ア 呼吸機能検査</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (7) 呼吸器系 *①気道系(鼻腔、副鼻腔、喉頭、気管、気管支)の構造と機能を説明できる。 *②肺の構造と機能を説明できる。【内呼吸、外呼吸および呼吸運動の機序とその調節系を含む。】</p>	坂巻 達夫
2014/05/15 (木) 1時限 09:00～10:30	血液疾患(3) 白血球系疾患について	<p>【授業の一般目標】 白血病について理解できる</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 造血の概要を述べることができる 2. 血球の分化の過程を述べるができる 3. がん遺伝子、癌抑制遺伝子の役割を説明できる 4. 主な造血器疾患を列挙できる 5. 急性骨髄性白血病の臨床病態を述べるができる 6. 急性リンパ性白血病の臨床病態を述べるができる 7. 急性単球性白血病の臨床病態を述べるができる 8. 慢性骨髄性白血病の臨床病態を述べるができる 9. 成人T細胞性白血病の臨床病態を述べるができる</p> <p>【準備学習項目】 1) 人体における白血球(好中球・好酸球・好塩基球・単球・リンパ球)の働きを説明することができる。 2) 人体における白血球(好中球・好酸球・好塩基球・単球・リンパ球)の基準値を列挙できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p>	福本 雅彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/15 (木) 1時限 09:00～10:30	血液疾患 (3) 白血球系疾患について	<p>歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 オ 血液、造血器、免疫</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。 *②各種臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *①口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患 (貧血、出血性素因、白血病) とスクリーニング検査法を列挙できる。</p>	福本 雅彦
2014/05/15 (木) 2時限 10:40～12:10	循環器疾患	<p>【授業の一般目標】 循環器系の解剖、生理機能について理解する。 循環器系の疾患について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 循環動態、高血圧症、虚血性心疾患、感染性心内膜炎関連疾患について説明できる。 2. 弁膜症、心筋症について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 循環器系の解剖、生理機能について説明できる。 循環器系の疾患について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 エ 循環器系<脈管系></p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 ウ 呼吸器、心臓、血管 総論Ⅵ 病因、病態 4 循環障害 ア 全身の循環障害 ウ 閉塞性の循環障害 総論Ⅸ 検査 2 画像検査 タ 超音波検査 4 生体機能検査 イ 心機能検査</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (3) 循環器系 *①心臓の構造と機能を説明できる。【心臓の刺激 (興奮) 伝導系、心筋の特徴、標準的心電図波形および心音を含む。】 *②肺循環と体循環の2系統を説明できる。 *③動脈、毛細血管および静脈の構造と血管系の役割を説明できる。 *④血液循環と血管運動、血圧の調節機構を説明できる。 *⑤主な動脈と静脈を列挙できる。 *⑥リンパの循環路とリンパ節の構造と機能を説明できる。 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *①虚血、充血およびうっ血の徴候、原因および転帰を説明できる。 *③血栓の形成機構と形態学的特徴および転帰を説明できる。 *④血栓の成因、種類および転帰を説明できる。 *⑤梗塞の種類、形態学的特徴および転帰を説明できる。</p>	坂巻 達夫
2014/05/22 (木) 1時限 09:00～10:30	中間試験 感染症 (1) 感染症の概要と臨床検査	<p>【授業の一般目標】 炎症・感染症について理解できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 炎症、感染症に関連する臨床検査項目を列挙できる 2. 測定結果から感染の有無を判定できる 3. 梅毒、結核感染症の病態および検査項目を述べることができる</p> <p>【準備学習項目】 1) これまでの臨床検査医学の講義内容 (臨床検査総論、一般検査・尿検査、血液、貧血、出血性素因、白血球系疾患) について理解し、述べるができる。 2) 炎症・感染症の概要が述べられる。 3) 感染症の種類を列挙できる。 4) 口腔領域に症状を示す感染症を挙げるができる</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	福本 雅彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/22 (木) 1時限 09:00～10:30	中間試験 感染症(1) 感染症の概要と 臨床検査	302教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ウ 検体検査の種類 d 免疫血清学検査 (抗体、補体、炎症反応、感染症の血清学的診断) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	福本 雅彦
2014/05/22 (木) 2時限 10:40～12:10	内分泌疾患 代謝・栄養疾患	【授業の一般目標】 内分泌器官の生理機能について理解する。 内分泌系の疾患について理解する。 糖尿病の病態について理解する。 高脂血症の病態について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 内分泌器官を中枢と末梢のフィードバック機構を説明できる。 2. 主な内分泌疾患について説明できる。 3. 糖尿病とその合併症について説明できる。 4. 高脂血症について説明できる。 【準備学習項目】 内分泌器官の生理機能について説明できる。 内分泌系の疾患について説明できる。 糖尿病の病態について説明できる。 高脂血症の病態について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 ケ 内分泌、代謝、栄養 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 1 7 全身管理に留意すべき全身疾患・状態 ク 内分泌疾患 ケ 代謝性疾患 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】	大口 純人
2014/05/29 (木) 1時限 09:00～10:30	感染症(2) ウイルス性感染症 について	【授業の一般目標】 ウイルス感染症について理解できる 【行動目標(SBOs)】 1. ウイルス性肝炎の種類を列挙でき 2. B・C型肝炎の病態を述べるができる 3. B・C型肝炎の臨床検査方法を説明することができる 4. B・C型肝炎の感染防止および消毒法を述べるができる 5. HIV感染症の病態を述べるができる 6. HIV感染症の臨床検査方法を説明することができる。 7. HIV感染症の感染防止および消毒法を述べるができる 8. Epstein-Barrウイルス感染症の病態を述べるができる。 9. Epstein-Barrウイルス感染症の臨床検査方法を説明することができる。 【準備学習項目】 歯科領域に関連の深いウイルスを列挙できる 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ウ 検体検査の種類 d 免疫血清学検査 (抗体、補体、炎症反応、感染症の血清学的診断) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。 *③清潔と不潔の区分および滅菌と消毒の意義、原理および代表的な方法を説	福本 雅彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/29 (木) 1時限 09:00～10:30	感染症(2) ウイルス性感染症 について	明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *②口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 *⑩ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 感染症の検査法とその口腔症状と検査法を説明できる。	福本 雅彦
2014/05/29 (木) 2時限 10:40～12:10	脳・神経・筋疾患	【授業の一般目標】 脳神経の解剖について理解する。 運動・知覚の神経伝導路について理解する。 認知機能とその障害について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 主な脳血管疾患について説明できる。 2. 主な運動ニューロン疾患について説明できる。 3. 主な筋肉疾患について説明できる。 4. 認知障害をきたす主な疾患について説明できる。 5. 主な脱髄疾患について説明できる。 【準備学習項目】 脳神経の解剖について説明できる。 運動・知覚の神経伝導路について説明できる。 認知機能とその障害について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 ク 神経 (知覚障害と運動障害を含む) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (5) 神経系 *①脳神経の種類、走行、線維構築および支配領域を説明できる。 *②末梢神経系の機能分類 (体性神経系と自律神経系) を説明できる。 *④脳と脊髄の基本的構造と機能を説明できる。【主要な自律機能 (呼吸、循環、体温) の調節中枢の働きを含む。】	坂巻 達夫
2014/06/05 (木) 1時限 09:00～10:30	肝臓 1) 肝臓について 2) 肝機能検査の種類とその臨床的意義 3) 肝機能検査データの解析	【授業の一般目標】 肝臓の働き・検査を理解できる 【行動目標 (SBOs)】 1. 肝臓の働きを説明できる 2. 肝機能検査の種類と検査意義を説明できる 3. 各種検査から疑われる肝臓の異常を説明できる 【準備学習項目】 1) 肝臓の解剖学的、組織学的特徴を説明できる。 2) 栄養の代謝を説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 イ 消化器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (6) 消化器系 *②肝臓の構造と機能および胆汁の分泌を説明できる。	深津 晶
2014/06/05 (木) 2時限 10:40～12:10	中毒・環境要因疾患 肝疾患 院内感染	【授業の一般目標】 環境要因による人体の変化について理解する。 中毒による人体の変化について理解する。 肝臓疾患について理解する。 院内感染について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 熱中症、低体温症について説明できる。 2. さまざまな中毒による症状と対応を説明できる。 3. おもな肝臓疾患について説明できる。 4. 院内感染の予防と対応について説明できる。 【準備学習項目】 環境要因による人体の変化について説明できる。 中毒による人体の変化について説明できる。	坂巻 達夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/05 (木) 2時限 10:40~12:10	中毒・環境要因疾患 肝疾患 院内感染	<p>肝臓疾患を説明できる。 院内感染について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 9 中毒、放射線障害 ア 中毒の発生要因・病態生理</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 ア 感染症の概念 イ 病原微生物 ウ 宿主側の因子 エ 感染症</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *⑥院内感染について、原因、予防法について説明できる。 C-5 生体と薬物 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *①薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 *②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) を説明できる。</p>	坂巻 達夫
2014/06/12 (木) 1時限 09:00~10:30	口腔がんの検査	<p>【授業の一般目標】 口腔がんについて理解できる</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 悪性腫瘍の発生について理解し説明できる 2. 本邦における口腔がんの発生状況を説明できる 3. 口腔がんのRisk factorを理解し説明できる 4. 口腔がんの検査法を列挙できる 5. 口腔がんの各種検査法の特徴を述べることができる</p> <p>【準備学習項目】 1) 本邦における悪性腫瘍の発生状況を述べるができる。 2) 腫瘍の分類を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *③異形成を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑩前癌病変 (白板症、紅板症) の特徴、症状および治療法を説明できる。 *⑪前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 *⑫口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。</p>	福本 雅彦
2014/06/12 (木) 2時限 10:40~12:10	腎・泌尿器科疾患 血液疾患	<p>【授業の一般目標】 腎臓の解剖、生理機能について理解する。 止血、凝固機能について理解する。 貧血、出血傾向について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 腎臓の機能を説明できる。 2. 急性・慢性腎不全を説明できる。 3. 主な腎臓疾患を説明できる。 4. 全身疾患や薬剤による腎臓の変化を説明できる。 5. 止血・凝固・造血機構について説明できる。 6. 主な貧血について説明できる。 7. 主な出血性疾患について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 腎臓の解剖、生理機能について説明できる。 止血、凝固機能について説明できる。 貧血、出血傾向について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p>	坂巻 達夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/12 (木) 2時限 10:40～12:10	腎・泌尿器科疾患 血液疾患	講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 オ 血液、造血器、免疫 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(9) 泌尿器系 *①腎臓と尿路(尿管、膀胱、尿道)の構造と機能を説明できる。 *②体液の量と組成および浸透圧の調節機構を説明できる。【ネフロン働き(濾過、再吸収、分泌)を含む。】 *③水代謝と主な電解質の出納を説明できる。【酸-塩基平衡を含む。】 C-2-3)-(11) 血液、造血器、リンパ性器官 *①リンパ性組織とリンパ性器官を説明できる。 *②造血器を説明できる。 *③赤血球、白血球および血小板の形成過程と機能を説明できる。 *④止血と血液凝固の機序を説明できる。【線溶系を含む。】	坂巻 達夫
2014/06/19 (木) 1時限 09:00～10:30	腎疾患	【授業の一般目標】 腎疾患と検査を関連付けられるようになる。 【行動目標(SBOs)】 1.腎臓の機能、主な腎疾患・泌尿器疾患、腎不全、全身疾患や薬剤による腎障害を説明できる。 【準備学習項目】 1)腎臓の解剖、生理機能および腎機能検査について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 2 器官系 オ 泌尿器系 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(9) 泌尿器系 *①腎臓と尿路(尿管、膀胱、尿道)の構造と機能を説明できる。 *②体液の量と組成および浸透圧の調節機構を説明できる。【ネフロン働き(濾過、再吸収、分泌)を含む。】 *③水代謝と主な電解質の出納を説明できる。【酸-塩基平衡を含む。】	福本 雅彦
2014/06/19 (木) 2時限 10:40～12:10	膠原病・アレルギー疾患	【授業の一般目標】 アレルギー疾患の病態を理解する。 膠原病の病態について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.主は膠原病について説明できる。 2.気管支喘息について説明できる。 3.アナフィラキシーショックについて説明できる。 【準備学習項目】 アレルギー疾患の病態を説明できる。 膠原病の病態について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 カ 自己免疫疾患 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 キ アレルギー反応(過敏症)	坂巻 達夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/19 (木) 2時限 10:40～12:10	膠原病・アレルギー疾患	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫</p> <p>*④自己と非自己の識別機構と免疫寛容を説明できる。 *⑤アレルギーの分類を説明できる。【発生機序を含む。】 *⑥免疫・アレルギー疾患の種類と発症機序を説明できる。</p>	坂巻 達夫
2014/06/26 (木) 1時限 09:00～10:30	事例検討1, 2	<p>【授業の一般目標】 事例検討</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討</p> <p>【準備学習項目】 事例検討</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	近藤 壽郎 岩井 聡
2014/06/26 (木) 2時限 10:40～12:10	事例検討3, 4	<p>【授業の一般目標】 事例検討</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討</p> <p>【準備学習項目】 事例検討</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	近藤 壽郎 岩井 聡
2014/07/03 (木) 1時限 09:00～10:30	事例検討5	<p>【授業の一般目標】 事例検討</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討</p> <p>【準備学習項目】 事例検討</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	西村 均 山口 桜子 羽田 紗綾
2014/07/03 (木) 2時限 10:40～12:10	事例検討6, 7	<p>【授業の一般目標】 事例検討</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討</p> <p>【準備学習項目】 事例検討</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	丹羽 秀夫
2014/07/10 (木) 1時限 09:00～10:30	事例検討8, 9	<p>【授業の一般目標】 事例検討</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討</p> <p>【準備学習項目】 事例検討</p>	福本 雅彦 牧村 正治 深津 晶恵 布施 恵治 續橋 治

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/10 (木) 1時限 09:00～10:30	事例検討8, 9	【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	福本 雅彦 牧村 正治 深津 晶 布施 惠 續橋 治
2014/07/10 (木) 2時限 10:40～12:10	事例検討10, 11	【授業の一般目標】 事例検討 【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討 【準備学習項目】 事例検討 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	福本 雅彦 牧村 正治 深津 晶 布施 惠 續橋 治
2014/07/17 (木) 1時限 09:00～10:30	事例検討12, 13	【授業の一般目標】 事例検討 【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討 【準備学習項目】 事例検討 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	大口 純人
2014/07/17 (木) 2時限 10:40～12:10	事例検討14, 15	【授業の一般目標】 事例検討 【行動目標 (SBOs)】 1. 事例検討 【準備学習項目】 事例検討 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	坂巻 達夫
2014/09/11 (木) 1時限 09:00～10:30	平常試験	【準備学習項目】 平常試験 【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室	福本 雅彦 布施 惠 深津 晶 牧村 正治 續橋 治
2014/09/11 (木) 2時限 10:40～12:10	平常試験	【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室	坂巻 達夫 近藤 壽郎 福本 雅彦 牧村 正治 大口 純人 丹羽 秀夫 西村 均 井上 文央 深津 晶 布施 惠 續橋 治 伊藤 耕 山口 桜子 羽田 紗綾 岩井 聡

隣接医学系①

年次	学期	学習ユニット責任者
4年次	通年	坂巻 達夫 (内科学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
担当教員	※小室 歳信、※太田 克也、※織田 健司、※平井 伸英
教科書	臨床のための法医学 第6版 小室歳信, 澤口彰子ほか 朝倉書店 事例・判例から学ぶ歯科の法律 第1版 第4刷 小室歳信 医歯薬出版 精神・神経科学は教科書は使用しないが、レジメのプリントを配布する。
参考図書	カプラン臨床精神医学テキスト 第2版監訳 井上 令一・四宮 滋 メディカル・サイエンス・インターナショナル DSM - IV - TR 精神疾患の分類と診断の手引 新訂版 訳: 高橋 三郎/大野 裕/染矢 俊幸 医学書院 ICD - 10 精神および行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン監訳 融 道男/中根 允文/小見山 実 医学書院 現代臨床精神医学 大熊輝雄 金原出版
評価方法 (EV)	平常試験(多肢選択問題)によって評価点(100%)とする。総合医学に含まれる各科目は追試験は行わぬが、再試験は行わない。 成績評価は含まれる各科目の授業時間に応じての重みづけを行い、総合医学全体として評価点を出す。 60点以上を合格とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	全人的医療という言葉が表すように、患者さんを取り巻く生理的、社会的、心理的、倫理的といった様々な要素を理解するためにも幅広い知識が要求されます。歯科医学を遂行する上で必ず役に立つときがきますので、集中して受講してください。 すべて、外部講師の方々です。礼節のある授業態度で臨んでください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/09 (水) 4時限 14:40~16:10	1. 総論 1) 法医学の歴史、定義、対象 2) 検屍と解剖 3) 日本における異状死体の取り扱い方 2. 生と死 1) 出生と死の判定効果 2) 生と死の判定時期	【授業の一般目標】 法医学の定義について説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「法律上問題となる」「医学的事項」「解決に寄与する」とは何を意味しているかを説明できる。 2. 法医学の対象は、死体ばかりでないことを説明できる。 3. 検屍の対象となる異状死体とは何か、どのような場合に法医解剖に付されるのかを説明できる。 4. 我国における死体の取り扱いについて説明できる。 5. ヒトはどの時点で生きる権利を認められるか。どの時点で死と判定されるのかを説明できる。 【準備学習項目】 法医学の定義について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 5 歯科法医学 ア 死体解剖と死因究明制度 【コアカリキュラム】	小室 歳信
2014/04/16 (水) 4時限 14:40~16:10	3. 死体現象 1) 定義 2) 早期死体現象 3) 晩期死体現象 4) 特殊死体現象 5) 死後経過時間推定 4. 異常環境による障害と死 1) 高温による障害	【授業の一般目標】 死体の時間的変化を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 死体に現れてくる様々な変化・現象を説明できる。 2. 早期死体現象と晩期死体現象の発生機序と法医学的意義について理解を説明できる。 3. ミイラ化や死蟻化現象について説明できる。 4. 死因や死体の環境などを考慮して死後経過時間を推定できることを説明できる。 5. 異常温度による障害・死亡の発生機序を説明できる。 6. 火傷死と焼死との死体所見の差異について説明できる。 【準備学習項目】 死体の時間的変化を説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室	小室 歳信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/16 (水) 4時限 14:40～16:10	3. 死体現象 1) 定義 2) 早期死体現象 3) 晩期死体現象 4) 特殊死体現象 5) 死後経過時間推定 4. 異常環境による障害と死 1) 高温による障害	【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 5 歯科法医学 イ 死後変化 【コアカリキュラム】	小室 歳信
2014/04/23 (水) 4時限 14:40～16:10	5. 損傷 1) 定義と用語, 法医学的意義 2) 法医学的問題点 3) 分類 4) 被虐待児童症候群 5) 損傷による死因 6) 生活反応	【授業の一般目標】 創傷とその法医学的意義について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 人体に生じた創傷を観察し, その検査の法医学的意義について説明できる。 2. 創傷の数, 部位, 性状および程度から, 自・他殺、事故死の区別ができることを説明できる。 3. 乳幼児や小児が繰り返し虐待を受け, それによって生じた外傷の特徴的性状を説明できる。 4. 損傷による死因について検討し説明できる。 5. 生体でなければ現れない所見 (生活反応) の意義, 死後損傷と識別ができることを説明できる。 【準備学習項目】 創傷とその法医学的意義について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 5 歯科法医学 ア 死体解剖と死因究明制度 【コアカリキュラム】	小室 歳信
2014/05/07 (水) 4時限 14:40～16:10	6. 中毒 1) 中毒, 毒物の定義 2) 薬毒物の分類 3) 一酸化炭素・青酸 4) 農薬 5) 犯罪の成立要件 6) 薬物依存症	【授業の一般目標】 農薬中毒・一酸化炭素中毒について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 薬毒物の定義および薬理学的分類について説明できる。 2. 一酸化炭素, 青酸および農薬などの性質, 中毒作用機序および死体所見などを説明できる。 3. 「行為者の責任能力」について正当防衛, 緊急避難, 心神耗弱, 心神喪失と関連づけて説明できる。 4. 耽溺性のある麻薬類, 覚醒剤等の代謝と排泄を説明できる。 5. アルコール依存症の定義と症状, ならびに代謝と排泄について説明できる。 6. 薬物依存症者の犯法行為と法律の関係について説明できる。 【準備学習項目】 農薬中毒・一酸化炭素中毒について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	小室 歳信
2014/05/14 (水) 4時限 14:40～16:10	7. 窒息 1) 窒息死の定義と分類 2) 窒息死の経過 3) 窒息死の特徴	【授業の一般目標】 窒息死について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 窒息の種々のタイプ (縊死, 絞死, 扼死など), 作用機序および窒息死体の剖検所見を説明できる。 2. 窒息死体の特徴を知り, 自・他殺あるいは事故死の区別を説明できる 【準備学習項目】 窒息死について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	小室 歳信
2014/05/21 (水) 4時限 14:40～16:10	8. 個人識別 1) 必要性・重要性 2) 生体・死体の個人識別	【授業の一般目標】 個人識別について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 個人識別の定義について説明できる。	小室 歳信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/21 (水) 4時限 14:40～16:10	3) 災害事故死の 身元確認 9. 歯科法医学 1) 法医学的意義 2) 歯から性別・ 年齢推定 3) 歯痕	2. 白骨死体の頭蓋骨の形態観察から性別判定法と年齢推定法について説明できる。 3. 大量災害死事故における身元不明死体の個人識別の効果的な手順について説明できる。 4. 歯・歯科所見の証拠物件としての価値を知り、それらの所見が身元確認に有効なのかを説明できる。 5. 歯の形態(大きさ、形)からの性別判定法を説明できる。 6. 歯の発生的変化、生理学的変化、病理学的変化、物理化学的变化からの年齢推定法を説明できる。 7. 歯に関する損傷のうち、歯痕からの個人識別について説明できる。 8. 歯科所見から職業、出身地、教養や生活程度などを推定できる場合があることを説明できる。 【準備学習項目】 個人識別について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論1 保健医療論 5 歯科法医学 ウ 個人識別、身元確認 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-3) 歯科による個人識別 ①個人識別について説明できる。 ②歯科による個人識別について説明できる。	小室 歳信
2014/05/28 (水) 4時限 14:40～16:10	10. 医療行為 1) 医療行為の定義 2) 医療行為と歯科 医療行為	【授業の一般目標】 医療行為について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 業としての医療行為とはなにかを説明できる。 2. 正当な医療行為の条件(治療、医学的・社会的正当性、承諾)について説明できる。 3. 生体腎移植、正常分娩および美容整形手術などは医療行為といえるかについて説明できる。 【準備学習項目】 医療行為について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 【コアカリキュラム】	小室 歳信
2014/06/04 (水) 4時限 14:40～16:10	11. 医療事故と法 医学 1) ヒヤリ・ハット 2) リスクマネジメント	【授業の一般目標】 医療事故について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 遺体は変死体と見なされ司法解剖に付されることを説明できる。 2. 事故には至らないヒヤリ・ハット事例を収集・分析し、再発防止策を説明できる。 3. 医療事故からリスクマネジメント構築を説明できる。 【準備学習項目】 医療事故について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準(主)】 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 f ヒヤリハット、アクシデント、インシデント、医療事故報告書、インシデントレポート 【コアカリキュラム】	小室 歳信
2014/06/11 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学1 総論	【授業の一般目標】 外因性、内因性、心因性精神障害について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 医師・患者関係の心理学、疾病や治療に対する心理的反応を説明できる。 2. 人格による心理的反応の違いについて説明できる。 3. 外因性、内因性、心因性精神障害の分類について説明できる。 4. 自殺の原因、手段、対応について説明できる。	太田 克也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/11 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学1 総論	5. ストレスの成因、背景、対処について説明できる。 【準備学習項目】 外因性、内因性、心因性精神障害について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	太田 克也
2014/06/18 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学2 心身症と緩和医療	【授業の一般目標】 心身症について理解する。 緩和医療について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 精神疾患の症状、治療法、治療薬について説明できる。 2. 身体科入院中の患者に合併しやすい精神疾患を説明できる。 3. 緩和医療について説明できる。 4. 心身症の症状、精神・心理的な要因の関与、治療について説明できる。 【準備学習項目】 心身症について説明できる。 緩和医療について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	平井 伸英
2014/06/25 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学3 外因性精神障害と 睡眠障害	【授業の一般目標】 睡眠障害について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 外因性精神障害、睡眠障害の症状、対応、治療について説明できる。 【準備学習項目】 睡眠障害について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	織田 健司
2014/07/02 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学4 内因性精神障害 (統合失調症)	【授業の一般目標】 内因性精神障害について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 内因性精神障害 (統合失調症圏) およびてんかんの症状、対応、治療について説明できる。 【準備学習項目】 内因性精神障害について説明できる 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	太田 克也
2014/07/09 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学5 小児および高齢者 の精神障害	【授業の一般目標】 小児・高齢者の精神的特性、精神障害について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 小児・高齢者に特有の精神的特性、精神障害の症状、対応、治療について説明できる。 【準備学習項目】 小児・高齢者の精神的特性、精神障害について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室	平井 伸英

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/09 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学5 小児および高齢者の精神障害	【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	平井 伸英
2014/07/16 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学6 てんかん	【授業の一般目標】 てんかんについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. てんかん、心因性精神障害の症状、対応、治療について説明できる。 2. 人格障害の特徴、対応、治療について説明できる。 【準備学習項目】 てんかんについて説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	織田 健司
2014/07/23 (水) 4時限 14:40～16:10	精神・神経科学7 内因性精神障害 (気分障害)	【授業の一般目標】 感情障害について理解する。 うつ症状を呈する疾患について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 感情障害 (躁うつ病圏) の症状、対応、治療について説明できる。 2. うつ症状を呈する様々な疾患について、その病態症状、対応、治療について説明できる。 【準備学習項目】 感情障害について説明できる。 うつ症状を呈する疾患について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】	太田 克也
2014/09/10 (水) 4時限 14:40～16:10	平常試験	【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室	坂巻 達夫 小室 歳信 太田 克也 平井 伸英 織田 健司

隣接医学系②

年次	学期	学習ユニット責任者
4年次	通年	坂巻 達夫 (内科学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
担当教員	※崎元 暢、※宮本 幸伸、※永石 匡司
教科書	イラスト眼科学 大野重昭、澤充 医学書院
参考図書	臨床エビデンス産科学・臨床エビデンス婦人科学 佐藤和雄 佐藤 和雄 藤本 征一郎 編 メディカルビュー社 標準産科婦人科学 第3版 丸尾 猛・岡井 崇 編 医学書院 黒田泰弘(編) 南江堂 最新育児小児病学<改訂第5版> 南江堂 小児歯科マニュアル(第4版) 前田隆秀(編) 南山堂
評価方法 (EV)	平常試験(多肢選択問題)によって評価点(100%)とする。総合医学に含まれる各科目は追試験は行わぬが、再試験は行わない。 成績評価は含まれる各科目の授業時間に応じての重みづけを行い、総合医学全体として評価点を出す。 60点以上を合格とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	全人的医療という言葉が表すように、患者さんを取り巻く生理的、社会的、心理的、倫理的といった様々な要素を理解するためにも幅広い知識が要求されます。歯科医学を遂行する上で必ず役に立つときがきますので、集中して受講してください。 すべて、外部講師の方々です。礼節のある授業態度で臨んでください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/02 (木) 4時限 14:40~16:10	眼科学1(眼の解剖・生理、視機能と眼科検査)	<p>【授業の一般目標】 目の解剖と生理機能を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 視覚器の構成を述べることができる。 2. 視機能について説明できる。 3. 基本的な眼内の解剖を述べることができる 4. 基本的な眼科検査を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 目の解剖と生理機能を説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p>	崎元 暢
2014/10/09 (木) 4時限 14:40~16:10	眼科学2(角膜・結膜疾患)	<p>【授業の一般目標】 角膜・結膜疾患について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 角膜の解剖生理について述べるができる。 2. 代表的な角膜疾患・結膜疾患を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 角膜・結膜疾患について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学</p>	崎元 暢

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/09 (木) 4時限 14:40～16:10	眼科学2 (角膜・結膜疾患)	C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。	崎元 暢
2014/10/16 (木) 4時限 14:40～16:10	眼科学3 (眼瞼と眼窩の疾患、眼科救急疾患)	【授業の一般目標】 眼瞼・眼窩の疾患について理解する。 眼科救急疾患について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 眼瞼と眼窩の解剖について説明できる。 2. 代表的な眼瞼・眼科疾患を説明できる。 3. 代表的な眼科救急疾患について説明できる。 【準備学習項目】 眼瞼・眼窩の疾患について説明できる。 眼科救急疾患について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。	崎元 暢
2014/10/23 (木) 4時限 14:40～16:10	水晶体と白内障について理解する。	【授業の一般目標】 眼科学4 (水晶体と白内障) 【行動目標 (SBOs)】 1. 水晶体の構造とその機能を説明できる。 2. 白内障の分類を説明できる。 3. 白内障手術の術式を説明できる。 【準備学習項目】 水晶体と白内障について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。	崎元 暢
2014/10/30 (木) 4時限 14:40～16:10	眼科学5 (緑内障、神経眼科)	【授業の一般目標】 緑内障について理解する。 視神経・眼球運動・瞳孔反応について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 緑内障の分類と眼圧上昇の機序を説明できる。 2. 緑内障の治療法を説明できる。 3. 散瞳が禁忌である緑内障について説明できる。 4. 視神経・眼球運動・瞳孔反応の生理と異常を説明できる。 【準備学習項目】 緑内障について説明できる。 視神経・眼球運動・瞳孔反応について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)	崎元 暢

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/30 (木) 4時限 14:40～16:10	眼科学5 (緑内障、 神経眼科)	<p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p>	崎元 暢
2014/11/06 (木) 4時限 14:40～16:10	眼科学6 (ぶどう 膜炎、全身疾患と 眼)	<p>【授業の一般目標】 ぶどう膜炎について理解する。 全身疾患による眼障害を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.3 大ぶどう膜炎について述べることができる。 2. 全身疾患による代表的な眼障害を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ぶどう膜炎について説明できる。 全身疾患による眼障害を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p>	崎元 暢
2014/11/13 (木) 4時限 14:40～16:10	眼科学7 (網膜硝 子体疾患)	<p>【授業の一般目標】 網膜硝子体疾患について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的な網膜硝子体疾患を説明できる。 2. 網膜硝子体手術の術式について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 網膜硝子体疾患について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (4) 感覚器系 *③視覚器、聴覚・平衡感覚器の構造と機能を説明できる。</p>	崎元 暢
2014/11/20 (木) 4時限 14:40～16:10	小児科1 1) 小児の成長・ 発達とその異常 2) 先天異常・染 色体異常	<p>【授業の一般目標】 正常な小児とは何かを理解し、異常な小児とを区別し理解することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 小児の正常な成長と発達を理解し、説明することができる。 2. 成長障害と発達障害を理解し、説明することができる。 3. 先天異常・染色体異常の代表的な疾患を理解し説明することができる。</p> <p>【準備学習項目】 正常な小児とは何かを理解し、異常な小児とを区別し説明することができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 a 発育区分 (出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項</p>	宮本 幸伸

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/20 (木) 4時限 14:40～16:10	小児科1 1) 小児の成長・発達とその異常 2) 先天異常・染色体異常	7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 b 発育期の特徴 c 成長発育・発達の特徴 (身体成長、原始反射、運動の発達、社会性の発達、言語の発達、情動の発達) d 小児の生理的特徴 e 身体成長と精神発達の評価法 (K a u p 指数、R o h r e r 指数、B M I、歴年齢、生理学的年齢、発達スクリーニング検査) 【コアカリキュラム】	宮本 幸伸
2014/11/27 (木) 4時限 14:40～16:10	小児科2 1) 発疹を伴う小児の感染症 2) その他の小児のウイルス感染症と細菌感染症	【授業の一般目標】 小児の感染症を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 発疹を伴う小児の感染症の症状と経過を説明することができる。 2. 小児の代表的な細菌感染症・ウイルス感染症の症状と経過を説明できる。 【準備学習項目】 小児の感染症を説明することができる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	宮本 幸伸
2014/12/04 (木) 4時限 14:40～16:10	小児科3 1) 出血をきたす小児疾患 2) 小児の気管支喘息と糖尿病	【授業の一般目標】 出血をきたす小児疾患を理解する。 小児の気管支喘息・糖尿病を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 出血性素因を持つ血液疾患や急性白血病について症状と治療について説明できる。 2. 小児の糖尿病・気管支喘息について説明することができる。 【準備学習項目】 出血をきたす小児疾患を説明することができる。 小児の気管支喘息・糖尿病を説明することができる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思 (欲) 不振、悪心、嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *②出血の原因、種類および転帰を説明できる。	宮本 幸伸
2014/12/11 (木) 4時限 14:40～16:10	小児科4 1) 小児救急疾患 2) 小児の処置と輸液療法	【授業の一般目標】 小児救急疾患の病態を理解する。 小児の輸液療法を指示することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 小児の救急疾患とその病態、処置について説明できる。 2. 小児の輸液療法について説明できる。 【準備学習項目】 小児救急疾患の病態を説明することができる。 小児の輸液療法を説明することができる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 ア 全身の症候 a 発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、失神、脱水、浮腫、けいれん、めまい、咳、喀痰、喘鳴、チアノーゼ、胸痛、呼吸困難、息切れ、動悸、頻脈、徐脈、不整脈、血圧上昇・低下、食思 (欲) 不振、悪心、	宮本 幸伸

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/11 (木) 4時限 14:40～16:10	小児科4 1) 小児救急疾患 2) 小児の処置と輸液療法	嘔吐、下痢、貧血、睡眠障害、頭痛、頭重感、摂食・嚥下障害 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 3 初期救急 イ 救急処置 a 一次救命処置<BLS>、気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、除細動、静脈路確保、酸素療法、基本的救急薬品、止血法、輸液療法、輸血 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-3) 循環障害 *⑦ショックの成因と種類を説明できる。	宮本 幸伸
2014/12/18 (木) 4時限 14:40～16:10	産婦人科1	【授業の一般目標】 女性生殖器の解剖と生理機能を理解する。 妊娠について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 女性生殖器の解剖と生理、診察と治療を説明できる。 2. 妊娠の診断と妊婦健診について説明できる。 3. 婦人科領域の主な症状から診断、治療への流れについて説明できる。 【準備学習項目】 女性生殖器の解剖と生理機能を説明できる。 妊娠について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (10) 生殖器系 *①男性生殖器、女性生殖器の構造と機能を説明できる。【ホルモンによる調節を含む。】	永石 匡司
2015/01/08 (木) 4時限 14:40～16:10	産婦人科2	【授業の一般目標】 正常および異常な妊娠、分娩、産褥について理解する。 妊婦と歯科疾患の関連性について理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 正常な妊娠、分娩、産褥経過および産科手術を説明できる。 2. 異常妊娠、異常分娩、異常産褥について説明できる。 3. 妊婦と歯科疾患の関連性について説明できる。 【準備学習項目】 正常および異常な妊娠、分娩、産褥について説明できる。 妊婦と歯科疾患の関連性について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系) 【コアカリキュラム】	永石 匡司
2015/01/15 (木) 4時限 14:40～16:10	産婦人科3	【授業の一般目標】 婦人科領域の悪性腫瘍について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 子宮頸癌および子宮頸部異形成について説明できる。 2. 子宮体癌および子宮内膜増殖症について説明できる。 3. 卵巣癌について説明できる。 【準備学習項目】 婦人科領域の悪性腫瘍について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 302教室 【国家試験出題基準 (主)】	永石 匡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/15 (木) 4時限 14:40～16:10	産婦人科3	<p>必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *①腫瘍の定義を説明できる。 *②腫瘍の病因を説明できる。 *③異形成を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。</p>	永石 匡司
2015/01/22 (木) 4時限 14:40～16:10	産婦人科4	<p>【授業の一般目標】 婦人科領域の良性腫瘍、月経異常、性感染症について理解する。 婦人科疾患治療中の歯科疾患管理について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 卵巣嚢腫、子宮筋腫、子宮内膜症の診断、治療について説明できる。 2. 月経困難症、過多月経などの月経異常や不妊症、性感染症について説明できる。 3. 婦人科疾患治療中の歯科疾患管理について説明できる</p> <p>【準備学習項目】 婦人科領域の良性腫瘍、月経異常、性感染症について説明できる。 婦人科疾患治療中の歯科疾患管理について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 e 器官系 (骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、循環器系(脈管系)、泌尿器系、生殖器系、神経系、感覚器系、内分泌系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。</p>	永石 匡司
2015/01/29 (木) 4時限 14:40～16:10	平常試験	<p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室</p>	坂巻 達夫 崎元 暢 宮本 幸伸 永石 匡司